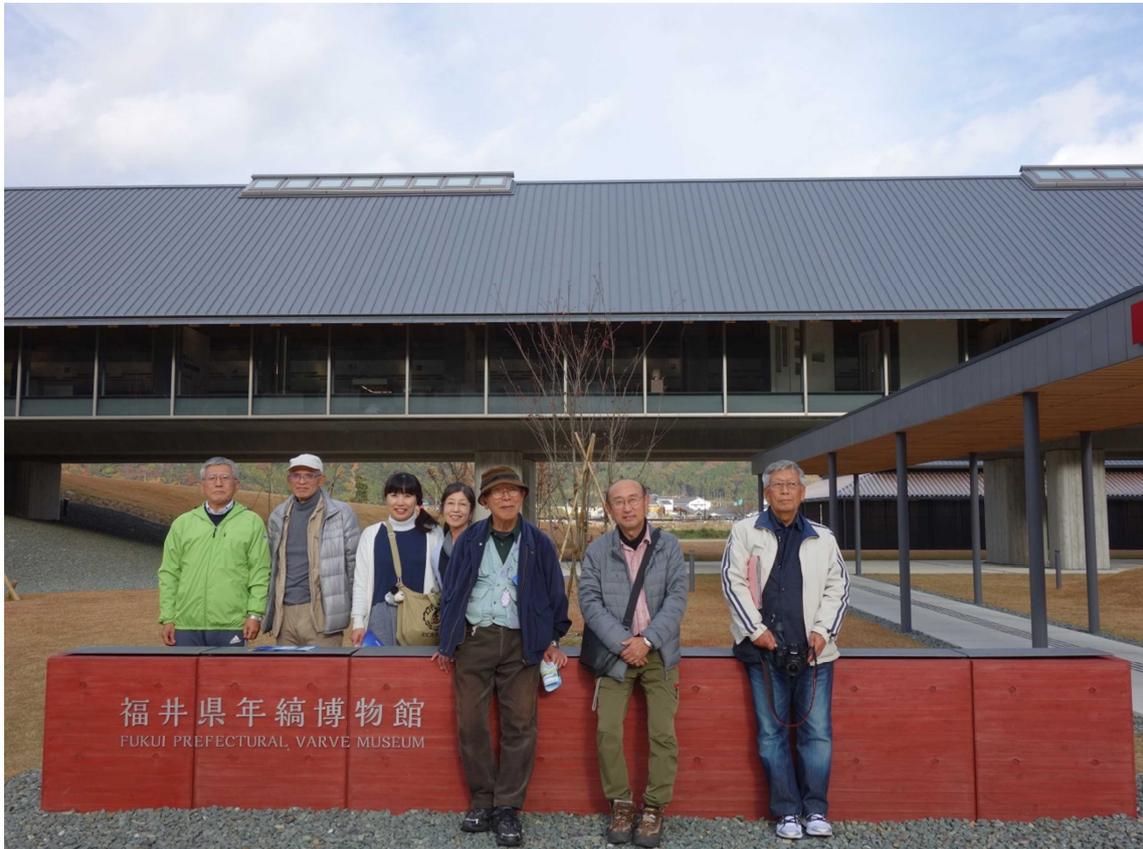


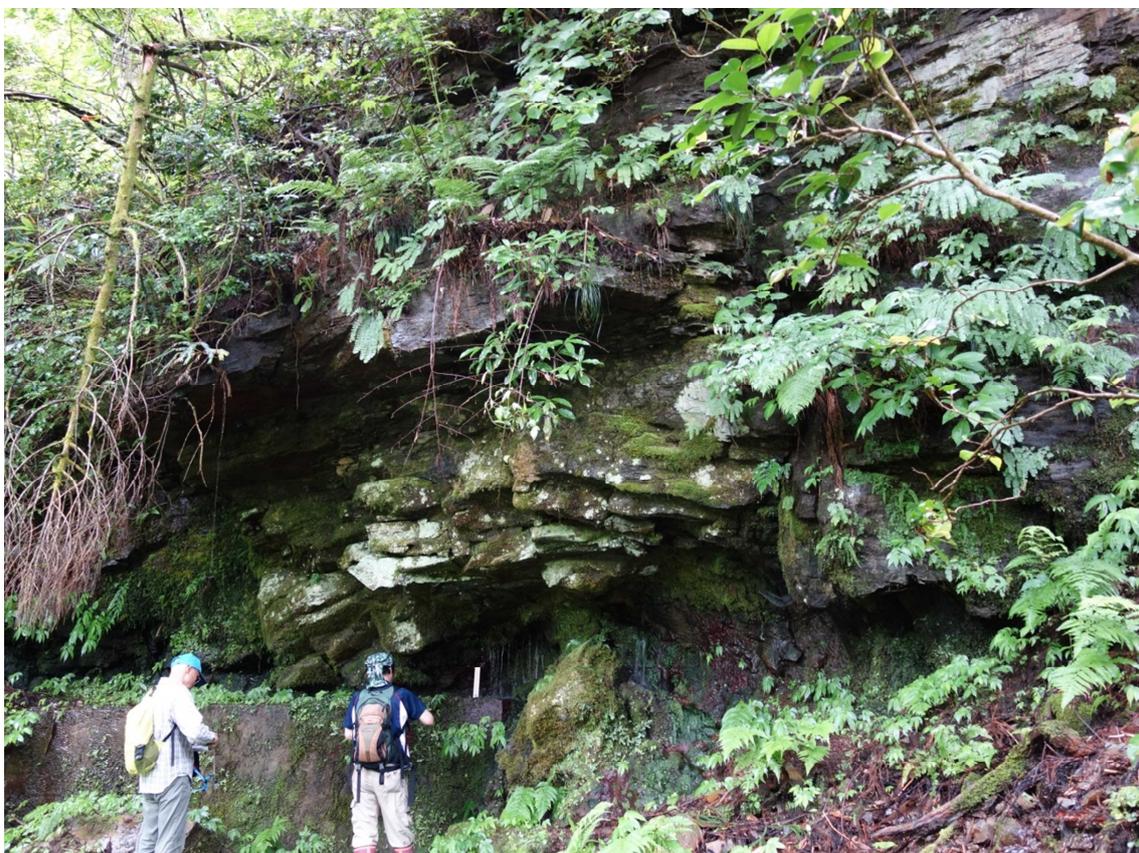
## 勝山市ジオパークガイドの会 平成30年度の取り組み

### ①スキルアップのための自主研修



ガイドで話せる内容の引き出しを多く持つための自主研修を行いました。勝山ジオパークに関連する内容ということで、2018年9月オープンの福井県年縞博物館と若狭三方縄文博物館に行きました。内容はもちろん、解説員の所作や話し方なども勉強になりました。

## ②情報共有のための巡検



各ジオサイトの内容の再確認（例えば岩の大きさや歴史など）と見どころを全員で共通の紹介ができるよう、現場で見えて触って確認して共通理解をしました。ジオサイトの植物も確認し、季節に応じたガイドを目指します。

## むろこ女性の会 平成30年度の取り組み

### ①赤とんぼロード整備事業



4年目を迎えた赤とんぼロードの整備事業。壮年会協力の元、村岡山ふもとの赤とんぼが乱舞する道路で草刈りや看板立てをしました。今年は更にキラキラスポットや道路脇休田に野向のコスモス種を育て景観の美化にも取り組みました。

## 谷はやし込み保存会 平成30年度の取り組み

### ①はやし込み行列



2018年8月15日 谷はやし込み行列（福井県勝山市北谷町谷）

*Photo by Takao Kitano*

夏は、谷はやし込み行列を行います。会員や知り合いの方、大阪府立大学の学生さん、多くの方の協力で行うことができました。寂しくなった村に賑わいを取り戻した一日となりました。

## ②お面さん祭り



二月の谷お面さん祭りでは府立大学の学生さんの協力で雪だるまを作ります。夕方よりだるまに点灯して、越冬野菜を使ったおぼの味や熟れ鯖で、お参り頂きました皆様をもてなします。大きな囲炉裏を囲み、四方山話に花が咲きます。

## まちづくり・むろこの会 平成30年度の取り組み

### ①山城跡先進地視察



今後の村岡山整備の参考とするため、白山市の一向一揆歴史館と鳥越城へ視察に行きました。現地ボランティアの方に鳥越城の歴史や出土品、復元された門や石垣などの解説を頂きながら見学できたため大変勉強になりました。

## ②イルミネーションの設置



毎年村岡公民館において、村岡山をモチーフにしたイルミネーションを設置しています。今年は公民館前の掲示板にネット型のイルミネーションを設置し更に見栄えが良くなっています。近くをお通りの際は、是非ご覧ください。

## 荒土町ふるさとづくり推進協議会 平成30年度の取り組み

### ①ウド栽培



春先にもみ殻を小山になるほどかけ、丹精込めて栽培した白ウドは、約150kg収穫することができました。香り高く、調理方法も多様で皆様に親しまれています。荒土の特産品としてこれからも試行錯誤を続け、より多くの皆様に手に取って頂けるよう工夫を凝らしていきたいと思えます。

## ②小中学生との共同作業



地元の子ども達と一緒に、花いっぱい運動や、炭焼き、川の清掃作業を行いました。子ども達の豊かな感性に触れることで、私達も新たな発想を生み出すことができ、また、生まれ育った町の素晴らしさを感じてもらうことで、荒土町を誇りに思う心を育てていきたいと考えています。

## 勝山市立北部中学校 平成30年度の取り組み

### ①三中合同「クリーンアップ九頭竜川参加」



遠隔システムを利用して、勝山市三中学校の代表生徒が、各校で行っている地域の美化活動について意見交流をしました。その中で、三中学校合同で「クリーンアップ九頭竜」に参加しようということになり、生徒会が主体となって参加メンバーを募集し、活動を行いました。

## ②バイカモ保全活動



2学年の生徒が荒土町まちづくり協議会の方と協力して、校区を流れる温川の清掃とコカナダモ（外来種）の駆除を行いました。ゴミの回収・処理は、市民環境課の協力を得て行いました。これからも自然保護活動を継続し、自分たちに出来ることを考え実行していきます。

## 沢山会 平成30年度の取り組み

### ①雪室の活用



今年はジャガイモを雪室に入れ実験をしました。ジャガイモからは芽が出ず長く保存できる事と、大変美味しくなることが分かり、ネットワークまつりで雪室ジャガイモを説明、販売し、大変喜ばれました。

## ②サツマイモの体験学習



今年も、市内の保育園、成器西小学校、子ども会、せいき塾の皆さんにサツマイモ植えと収穫の体験学習を実施しました。体験する子供が毎年変わり、初めての子供が多く喜ばれている事業で、エコの大切さを勉強しました。又、田んぼでの昆虫つかまえをし、昆虫の学習も体験させました。

今後も子供たちにエコの大切さの体験学習を続けていくつもりです。

## NPO 法人 まちづくりのむきの会 平成30年度の取り組み

### ①「のむき風の郷」を核とした野向町活性化事業



(財) 地域活性化センターの地方創生に向けて「がんばる地域」応援事業として、「のむき風の郷」を核とした「のむき四季彩まつり」を展開し、特産のエゴマ油や地場産野菜の販売を通して、野向町の活性化に取り組みました。

## ②野向町ジオパークの魅力を発掘しよう



野向地区かつやまっ子応援ネットワーク事業を支援、協力しています。今年  
は「龍谷遺跡からみえる古代の暮らし」がテーマです。土器を作り、火を起こ  
し、土器を野焼きしながら、野向町のジオの魅力を発掘し、人々の暮らしとジ  
オの関係を体感しました。

## 恐竜の里 食を考える会 平成30年度の取り組み

### クリスマス弁当作り



北谷の皆さんに楽しんでもらえるようクリスマス弁当を真心を込めて作りました。ささ身の林檎の挟みフライなどお年寄りに不足しがちなタンパク質を摂れるよう栄養面も考えて野菜、お肉とバランスのとれた献立作りも心掛けました。

## 勝山地区まちづくり協議会 平成30年度の取り組み

### ①歴史の道高札



勝山地区内には、藩政時代の通りの由来や地域の歴史を記した案内板が、江戸時代の「高札」を模した形で設置されています。平成29年度より文字を専用工具で彫る作業を行っており、立体感のある読みやすいものへと随時更新していきます。

## ②はぴりゅうマスコット・薬莖キーホルダー



国体の「おもてなし」として、勝山高校や市民ボランティアと共に「はぴりゅうマスコット」と「薬莖キーホルダー」を製作しました。これらはバトミントン、クレー射撃それぞれの会場で関係者、来場者に配られました。

## 縄文の里料理研究会 平成30年度の取り組み

### ①遅羽地区ツアーで報恩講料理堪能！



「お平の煮物、お出しがしみ込んで最高!」「おつぼの小豆、美味しい!」ツアー参加の皆さんに報恩講料理を楽しんで頂きました。これからも、地域に伝わる郷土料理を作り続けていきたいです。

### ②勝山年の市で縄文の里の名物を！

わがまち元気事業で開発した「縄文ぼたもち」「縄文揚げかきもち」など勝山の名物として勝山年の市などのイベントで出品します。

## 片瀬銭太鼓保存会 平成30年度の取り組み

### ①勝山きらめき五月（さつき）祭



今年最初の出演となった「勝山きらめき五月祭」でのアトラクションは好天の下で、稲作演技も広い場で伸び伸びとできました。野外ステージでの発表は他にはなく、片瀬豊年ばやしを演じるには好都合の場でした。

## ②さつき苑文化祭アトラクション出演



例年出演の招待を受けている文化祭でのアトラクション出演。施設入所の方々はもちろん、ご家族の方にも私たちの出演を心待ちにしているとの声を支えにして、これからも期待に応えていけるように地元の施設を応援したいです。

## スイーツ食愛かつやま 平成30年度の取り組み

### 毎週金曜日カフェオープン



越前大仏門前町をお借りしている工房で、冬季を除く毎週金曜日カフェを開けています。ネジアート、タイルアート、ひょうたんアート、ハンバーガー、エステ、タッグスタジオ等、門前町住人が増えました。エコミュージアムニュースをお持ち頂きましたらサービスをさせていただきます。

## せいきコミュニティスポーツクラブ 平成30年度の取り組み

### ①「運動」ノルディックウォークとスティックリング



人生100年時代をイキイキと生きるために「健康」という「資産」作りを  
実行しています。健康歩行のソーシャルノルディックウォークと福井発祥のス  
ティックリングで社会保障費の削減に寄与し、社会参加しています。またノル  
ディックウォークで観光ウォーキングも行っています。

## ②2に食事、3に元気で長生き



生命維持に必要な栄養素を地場の新鮮な素材を使って摂ることが長生きする秘訣です。そこで未来健やかで長生きするために毎日食べるものが体を整えるという健康長寿料理教室と、アスリート弁当や勝山ミルクカレーの販売も行っています。

## いのせポーノくらぶ 平成30年度の取り組み

### ①すこやかフェスタ



すこやかフェスタはいろいろな店舗が集まります。農業が盛んな猪野瀬地区の特色を生かした商品をPRしながら販売しました。小学生ボランティアも「おいしいですよ」と大きな声で呼び込みをしてくれて、お客様からも「おいしかった」と言ってもらえました。

## ②勝山市民活動ネットワークまつり



今年のネットワークまつりは、活動ネットワークだけでなく越前大仏とコラボし、多種多様な催しがあり、音楽があり、人の賑わう声があると、とても活気に満ちた祭りとなりました。今回新商品を販売したところ、「形も味も良い」や、「また食べたくなる味」という声があり、手ごたえを感じました。